

二人劇『父と暮せば』 作・井上ひさし



「どえりゃーもんを 落としおったもんよのう
にんげが おんなじにんげの上に
お日いさんを ニつも並べくさってのう」

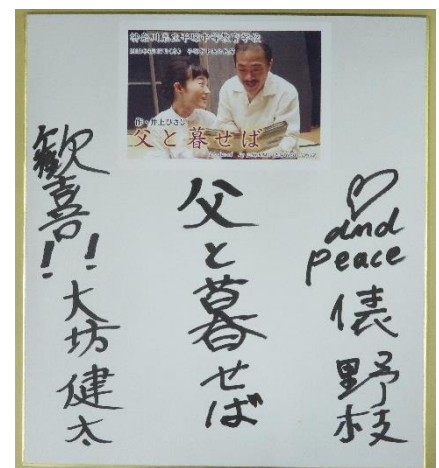
【あらすじ】

閃光と爆風が襲った日から3年後。昭和23(1948)年7月の最終火曜日午後五時半。福吉美津江の家。

一人だけ生き残ったことを罪悪だと思い込み、ずっと自分を否定し続け、ひっそりと生きてきた美津江。そんな美津江に芽生えた恋心。

自分の気持ちに蓋をして、恋のときめきもなかったようにふるまい身を引きこうとしている。

天国でイラツクおとったん・竹造は、あの世から『恋の応援団長』となってブラリ現れた。一人娘を残し死んでいった父の強いつよい娘への想いが、あの手この手を使い、かたくなだった娘の苦しみを解きほぐす・・・



企画・制作 横浜芸術センター